

もくじ

読書への誘い

河合塾で学ぶみなさんへ

① 木村 敏	善の研究	西田幾多郎 著
② 谷川道雄	後世への最大遺物 デンマルク国の話	内村鑑三 著
③ 中川久定	カラマーゾフの兄弟(1、2、3、4、5)	ドストエフスキイ著<訳/亀山郁夫>
④ 長野 敬	イカの心を探る—知の世界に生きる海の靈長類	池田 譲 著
⑤ 丹羽健夫	晩年	太宰 治 著
⑥ 渡辺京二	コーヒーが廻り世界史が廻る—近代市民社会の黒い血液	白井隆一郎 著
⑦ 青木和子	つくられた卑弥呼—〈女〉の創出と国家	義江明子 著
⑧ 芦川進一	新編 四季抄 風の旅	星野富弘 著
⑨ 江藤俊一	光る原子、波うつ電子	伏見康治 著
⑩ 大竹真一	核融合エネルギー入門	ジョセフ・ヴァイス著<訳/本多力>
⑪ 岡 文子	生きるとは、自分の物語をつくること	小川洋子 河合隼雄 著
⑫ 茅嶋洋一	ギリシア哲学と現代—世界観のありかた—	藤沢令夫 著
⑬ 河田育子	金閣寺	三島由紀夫 著
⑭ 菅 孝行	モスクワの孤独—「雪どけ」からプーチン時代のインテリゲンツィア	米田綱路 著
⑮ 熊崎智子	地震・プレート・陸と海—地学入門	深尾良夫 著
⑯ 公文宏和	古代中国の文明觀—儒家・墨家・道家の論争—	浅野裕一 著
⑰ 倉田 修	つづり方兄妹	野上丹治・洋子・房雄 著
⑱ 小森清久	私たちはこうして「原発大国」を選んだ 増補版「核」論	武田 徹 著
⑲ 里中哲彦	フランクリン自伝	フランクリン著<訳/渡邊利雄>
⑳ 武田博幸	日の名残り	カズオ・イシグロ著<訳/土屋政雄>
㉑ 立花 涼	ごく普通の在日韓国人	姜 信子 著
㉒ 藤堂光順	白楽天—官と隠のはざまで	川合康三 著
㉓ 成田秀夫	日米衝突の根源 1858-1908	渡辺惣樹 著
㉔ 原田伸雄	仮面の告白	三島由紀夫 著
㉕ 牧野 剛	歴史の進歩とは何か	市井三郎 著
㉖ 八木暉雄	創造的福祉社会—「成長」後の社会構造と人間・地域・価値	広井良典 著
㉗ 山田伸吾	中国の思う壺(上・下)	小田 空 著
㉘ 結城敦司	人間回復の経済学	神野直彦 著

主任研究員・特別研究員プロフィール

河合文化教育研究所 出版 ブックレット・単行本・研究論集

文化活動 学術交流・シンポジウム・講演会

主任研究員・特別研究員の著書からの入試問題出題歴

推薦図書の中には、絶版や品切れで重版未定のものや、高価で入手しにくいものも含まれています。
図書館や古書を利用してください。